

令和5年度 第2回小淵沢地域委員会会議録

- 1 開催日時 令和5年10月30日(月)
午後7時00分開会～午後8時30分閉会
- 2 開催場所 生涯学習センターこぶちさわ 軽運動場
- 3 出席委員 三井典子、中山宏樹、茅野博文、宮沢裕夫、宮沢俊彦、
粟田朱美、藤代富美男、今井一夫、茅野秀明、佐野恭子、
深澤久、坂本秀樹
- 4 欠席委員 進藤幸夫、岩波光代、清水俊一、金丸哲也
- 5 事務局員 小淵沢総合支所長 皆川 賢也
地域市民課長 宮川 勉
地域市民課市民担当 坂本 誠
地域市民課市民担当 鶴丸 唯也
- 6 議 題 (1) 令和6年度地域委員会予算使途提案事業補助金の
応募結果について

(2) 小淵沢地域委員会だより編集委員の選出について
- 7 公開・非公開の別 公開 ・ 非公開
- 8 傍聴人数 0人
- 9 署 名 署名委員 4番 _____
署名委員 5番 _____

1 開会

2 会長あいさつ

進藤幸夫会長が体調不良により欠席のため、
三井典子副会長からあいさつ

3 議事

北杜市地域委員会設置条例第8条2項の規定により、会長が議事を務めることになっているが、会長不在の場合は、第7条3項の規定により、副会長が会長の職務を代理することとなっているため、三井副会長が議長を務め議事進行。

(副会長)

議長を務めさせていただきます。

委員の皆様にはスムーズな議事になるよう、ご協力をお願いします。

この会議は、北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条公開の原則に基づいて開催されています。本日の議事内容には、非公開情報は含まれていませんので、公開といたします。

また、傍聴人はいませんので、このまま進めさせていただきます。

次に、議事録署名人の選出を行います。前回の署名は中山宏樹委員までお願いしています。今回は4番茅野博文委員、5番宮沢裕夫委員にお願いします。

(1) 令和6年度地域委員会予算使途提案事業補助金の応募結果について

(事務局)

資料に基づき説明。

(委員)

ホースショーに関して、議会でもこれが取り上げられてきましたが、先ほどホースショーについてはまだ変更になる可能性があるという説明があったのは、主体のあり方そういったことじゃないかなというふうに思いますが、確認と質問です。ホースショーについては、小淵沢地域委員会の予算としての割合が全体の約50%を占めており、これがあ

ると、他の活動が制限され、ないしは新しい活動があるが、予算的に厳しい状況です。また5%のシーリングがある中で、市の全体の予算の中に組み入れて小淵沢の中から、あり方というのを検討していただきたいという意見を、市長と語る会において、質問をさせていただきました。端的に言いますと、ホースショーは県営の馬術競技場を会場として、山梨県、北杜市にとって非常に重要なイベントであり、予算も含め山梨県や北杜市が主催で、それを主にサポートするのが小淵沢の関係者じゃないかという議論の中で、コロナの関係でホースショーを支えてくれた方々、特に馬に関する方々が経営的にも厳しいといったこともあり、そんなことも反映して質問として、先ほど言ったように、この予算が、市が主体になっていただければ、小淵沢町の他の活動にももっと反映ができると思います、小淵沢地域委員会の半分の予算を占めるホースショーについて質問をしました。回答は、各事業計画は、各町の地域委員会から提示されているものであり、認識が違うのではと回答をいただきました。要するに町の地域委員会が出したから、なぜ町の地域委員会が不満だということを行うのかと回答がありました。議会でこの質問をされた議員に相談しました。そうしましたら回答は議会での答弁と全く違うものだったといったことで、その方から議会の答弁内容を教えていただきました。市の位置づけはという質問に対して、答えは観光資源として馬のまちをPRする。また、象徴的な祭りであるため、今後のあり方はということで回答は全国に誇れる特徴的な観光地を目指し、市の皆様と連携して地域経済の発展に繋がる代表的なものである。サポート体制はこれから市関係団体で検討会を立ち上げて協議を進めるという回答でした。議員からも明野のサンフラワーフェスと小淵沢のホースショーの二つは市のイベントとして運営してほしいという話は以前からあり、特に地域の方々は強く市のイベントにという考えがあり、そういったことがあってそれをお伝えしたつもりが、筋が違うといった答弁がありました。今回の事務局からの説明の中で見直しをするといったことはそういったことが少しは反映されたかなと思いますが、来年の事業の中において、明野の資料を見ましたら、サンフラワーフェスというのは、どこに該当する

のか教えていただければと思います。また、市長答弁というのは、違ったのではないかと確認と、地域委員会からではなく、これは市の大きなイベントとして、予算も含めてお願いしますといった趣旨をご理解いただきたいというそういった意見です。

(事務局)

まず、ホースショーの位置づけについて、予算のあり方をどうするかは協議中ですが、ホースショーにつきましては、実行委員会を小淵沢町中心に組織しております。その実行委員会が主体性を持って実施しています。実行委員会からは来年度の話も既に協議をしており、実行委員会の方向性とする来年度もホースショーは実行委員会としてやりたいという意向を確認しています。それらを市の産業観光部や市長、副市長にもお伝えしながら、どういう取り扱いにしていくかということも含めて今協議をしているところです。

地域委員会からは令和5年度で言えば588万9千円が予算化されており市からは300万円の補助金が出るという状況で令和5年度のホースショーについてはすでに実施がされた状況であります。来年度につきまして、協議中ですが、市財政の厳しい状況等も鑑みると、地域委員会からの予算については市としても期待される場所であると考えています。

ですが、地域委員会予算使途提案事業については、この委員会で決定されるべきものですので、そういった意味において、この委員会の判断によって、ホースショーの予算を削るという結論に達すれば、削るということになると思います。そうすると市の予算もその分出していただけるように努力はするにしても、なかなか財政状況厳しい中で予算が増額されることは考えにくいとも思われ、当然事業規模を縮小せざるを得ないような状況にもなると思います。その点も加味していただいて、地域委員会予算使途提案事業については慎重にご判断願う必要があると思います。

また、市長と語る会での市長の回答は地域委員会が決めたことだからというのは言葉の通りであり、この地域委員会予算使途提案事業についてはこの地域委員会が決定しているということでございます。公募

で決定されたものを当地域委員会の代表が市長に今年の1月にヒアリングをして、市長がこの予算を議会に提出し、議決されたということでございます。

サンフラワーフェスにつきましては、イベントの中で歳入が見込まれる事業であります。1ヶ月程度期間を設けてひまわりを見せるというのがメインのイベントであり、ひまわりを見るために車で来る方も大変多くいます。駐車場を有料で貸しており、その駐車場の運営を実行委員会でやっておりますので、それで十分まかなえるということでありまして、サンフラワーフェスについては、そういった形で事業化しているものでありますので、ここには載っていません。

また、参考に言いますと、決して小淵沢だけがイベントに多くのお金を使っているということではないと、資料を見ていただければご理解いただけるものかと考えます。例えば明野町で11月3日にだいこん祭りを行います、明野町全体で1,100万円程度が総額ですが430万円はだいこん祭りに使うということでありまして、須玉町を見ますと1,300万円が総額でございますが、甲斐源氏まつりに600万円使っていくというようなことでございます。他の町につきましても、ほぼ同じような形態でメインのイベントに歳出をしている状況ですので、ホースショーが特別だというのは少し違うのかなと思います。ただ、ホースショーの考え方というところで、小淵沢として地域としては違うということであれば、その結論はこの委員会を出していただいた上でという話になると考えます。ただ、ここは繊細な部分でもありますし、ホースショーは歴史のあるイベントであります。既に50回近く実施してきております。元々は、馬関係の方たちが始めたイベントで、それを小淵沢町と一緒にやろうということで、一緒に実行し、その後、小淵沢町が主体的に実施するようになり、北杜市に合併し、今年地域委員会の予算であります北杜市の予算で実施している事業ではあります。

また、市の位置づけとして、サンフラワーフェスとホースショーについては、やはり中心的なイベントであるという位置づけを持とうとしていることに異論はなく、お金は地域委員会を出してもらうこともあ

りますけれども、市も補助金をつけていたりするので、市がそれをPRするというような、市が主体的に責任を持ってやっていこうということについて異論はないと考えます。ですので、今協議していることは、今年度もなかなか支所の体制が厳しい中で事務局を支所だけで受けるのは厳しいというお話がある中で、本庁にということもありましたけれども、今年度は市長から支所を中心に事務局をやるようにという指示が年度初めに出まして、今年度のホースショーについては支所が事務局となり実施しておりますが、現実、支所も大変人数が厳しい中で、本庁の観光課の方でホースショーの事務局もやってほしいということもお願いしつつ、お金だけの話ではなくて、主体的に事務局をどこがやるのかというようなことを今協議しているところでございます。支所だけでホースショーの事務を行うと小規模な小淵沢だけのイベントと見られることもありますけれども、本庁観光課が事務局になると市の一大イベントという認識も高まっていくという考えもございますので、その辺は協議を強く進めているということでございます。

(委員)

子どもたちの登下校におきまして、引率していただいている方が何人かいると思いますが、歩道がない場所も多いので、今事故が何も起きてないのでもいいですが、協力隊みたいなものはあるのでしょうか。

(事務局)

今年度の区長会におきまして、各地区から2名に参加いただいて、2学期に小淵沢町見守り隊を発足しました。参加されているのは約20名の方に参加していただいています。そんな中で市の教育委員会もベストのお金を出して、2学期から危険な交差点で、通学時など見守り隊が見守るという活動が始まっています。

ただ、地域委員会の予算には入っていないので、もし委員からそんな話をしてくれるのであれば、代表の方に必要な経費があるのであれば要望しませんかというような話をするのもいいのかなと考えます。ただ、既に前回の予算額を超えている事もあり、市企画課からシーリングが今からかかってくる可能性もあるので、さらに減額しなければならぬとなると苦しいところですが、必要なお金はつける事が重要と

考えますので、委員の皆様にご相談して、優先順位をつけてということになると思います。こんなご意見ですので、ぜひ見守り隊の会長にお話しながら進めたいと思います。

(委員)

それに伴って、横断歩道に旗を入れる入れ物がありますが、かなり劣化しているようですので、また見ていただいて交換していただければと思います。

(事務局)

横断歩道の旗については、北杜交通安全協会に対応します。

(委員)

小学校50周年記念は、なぜ教育委員会でなく地域委員会なのか教えてください。

(事務局)

市の教育委員会では市内に多数の小中学校がある中で、周年の記念誌等の作成は行っていないので、小中学校が独自で主体となって要望が提出されました。

(委員)

小学校の事業は必要ないと思います。関係者の自己満足に感じます。小淵沢の住民にとって必要ないのではと感じます。

(事務局)

総額が提示された後、地域委員会の場で諮っていただきたいと思いますので、ここで結論を出すことは差し支えさせていただきたいと思います。

(議長)

次回の地域委員会までに、今日の資料を確認いただければと思います。

(委員)

地域活性化検討事業について、研修を実行するにあたって、もう少し具体的なことを検討して、予算とする方がいいのかなと思います。予算の範囲でやっているの、必要なところを計上して、実行するというような方向が合っているかと思っています。

あと委託料は何の委託でしょうか。

(事務局)

こちらは視察の際のバスの運行委託です。

(委員)

小淵沢は馬のまちということで、PRしていると思いますが、市から小学生や子どもたちに学んでいただけるような活動を聞いたことがあります。今も続いているのでしょうか。

(委員)

先日のほくと馬のまち祭りでは、引き馬での乗馬体験を小学生や保育園の子どもたちに体験していただけるように割引券を発行しました。

(委員)

他が厳しい中で、ガールスカウトの予算が5万円増えていることと、他の町では計上されていないのに、なぜ小淵沢だけガールスカウトの予算が計上されているのか教えてください。

(事務局)

ガールスカウトについて、小淵沢地区として申請を頂いており、小淵沢町内での活動で要望が出ております。増額の理由について、今年度と比べて参加するイベントが増えております。消耗品や熱中症対策物品の購入、お手紙プロジェクトといった活動の際に、手紙の他にホッカイロや入浴剤の配布をしたいということで増額となっています。また、新しい活動で小淵沢駅のクリーンアップ作戦として、120周年に合わせてゴミ拾い活動の実施をしたいということで増額の要望が提出されています。

(委員)

次回の地域委員会では事業主体の関係者がいて、予算要求に関する説明をされますか。

(事務局)

今のところはその予定はございません。予算につきましては、今回は9月に応募をかけて、団体の提出してきた金額となっています。数年継続している事業につきましては、令和5年度と同額の金額を基本的には計上しています。

(委員)

確か数年前の会議では、事業主体の関係者から説明されてきました。今回も、趣旨を伺った上で判断するっていうのが本来の筋だと思います。

(事務局)

次回の地域委員会では、団体の方に依頼して、説明に来ていただけたところについては説明をしてもらえるように検討したいと思います。役員に相談しながら、進めたいと思います。

(議長)

貴重なご意見ありがとうございました。

(2) 小淵沢地域委員会だより編集委員の選出について

(事務局)

資料に基づき説明。

(議長)

事務局から編集委員を選出し、地域委員会だよりを作成する案が提出されましたがいかがいたしましょうか。

(議長)

異議なしということですので、編集委員2名を選びたいと思います。編集委員の希望者を募ります。

(事務局)

2名の方に全てやっていただくということではございません。事務局で作成した原稿の確認、並びに、会長、副会長につきましてもこの編集について、最終原稿の確認をお願いしたいと考えておりますので、基本的には、2名の方と事務局が中心となって進めていきたいと思えます。ご協力していただける委員さんにつきましては挙手をお願いしたいと思います。

(事務局)

事務局の案として、前回の地域委員会で、地域委員会だよりをより良くする改善案の意見を提言していただいた、深澤委員にお願いしたいと思います。

(深澤久委員、了解の返事。)

あと1名、編集委員としてご協力していただけないかなと思います
が、いかがでしょうか。

(議長)

宮沢俊彦委員、いかがでしょうか。

(宮沢俊彦委員、了解の返事。)

深澤委員、宮沢俊彦委員の2名に決定してよろしいでしょうか。

(異議なし)

よろしく願いいたします。

(議長)

以上で議題の審議が終了しましたので、議長を下ろさせていただきます。
ご協力ありがとうございました。

(委員)

有志の会の活動について、いいですか。

(議長)

有志の会の活動については、私と事務局とで協議をしています。

事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

この件について、本年度5月の小淵沢地域委員会において、会長の提案で有志の会を立ち上げる事を会長が発言したものであります。

その後、会長から事務局へ委員会の設置や会議の経過などの報告はありませんでした。

また、6月に会長が体調を崩されたとご家族から報告を受けています。

10月に入り、有志の会から活動への協力要請を受けましたが、事務局ではこれまでの協議の内容や参加者など把握していない状況でしたので、委員に説明をお願いし、10月半ば過ぎに委員から説明を伺いました。これまでの有志の会の協議内容や趣旨について、とりとめのない口頭での説明で内容の理解ができなため、簡潔にまとめて書面で示していただくようお願いし、後日資料を受け取り内容の確認をいたしました。

その結果、協議の内容や求めていることが、地域委員会設置条例に定める地域委員会の権限に照らして適さない内容でありましたので、議案とできないことを委員にお伝えしています。

閉会ののちに委員の皆様でこの会場に残って参加される方を対象に、提案委員から説明を受けたいと考えます。

(議長)

事務局から説明がありました。私もこの件について、事前に確認していますので、ここで議事を終了します。

閉会ののちに、委員から改めて説明を頂きたいと思います。

以上で議題の審議が終了しましたので、議長を下ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

4 閉会

(事務局)

長時間にわたるご審議、ありがとうございました。

以上を持ちまして、令和5年度第2回北杜市小淵沢地域委員会を閉会いたします。

閉会時間 午後8時30分